

スミセイ コミュニティスポーツ推進事業

2012 インカレミドル・リレー協賛

トレイルオリエンテーリング大会

プログラム

- 主催 NPO法人トレイルオリエンテーリング協会
- 協力 日本学生オリエンテーリング連盟
有限会社ヤマカワオーエンタープライズ
- 開催期日 平成24年3月8日(金)
- 開催場所 栃木県日光市所野公園
- 交通 インカレモデルイベントの交通欄を参照下さい。
- 集合場所 所野公園コミュニティセンター憩いの家
- 受付 モデルイベントに出掛ける服装でトレイルO受付まで
徒歩200m 赤テープ誘導 公園内のあづまやが受付です。
- 受付時間 午前8時00分より～午後12時50分
- スタート時刻 午前8時30分～午後1時00分
- 競技制限時間 A, Bクラス共60分
- フィニッシュ閉鎖時刻 午後2時00分
- 地図 縮尺4000分の1 等高線間隔m ISSOM表記
日本トレイルO競技規則準拠
- トレイン 平坦な松林を中心とした整備された公園です。、人工的に作られた水路、遊具なども多くいろいろなコントロールが用意されています。岩、微妙な尾根 沢 植込み等、公園の割には変化に富んでいます。
コース距離は短めですが、制限時間も短く設定されています。ご注意
- 表彰 表彰は インカレミドルの表彰式直前に行います
表彰式の時に不在の学校、個人には賞品を差し上げません。

団体戦

大学生のみ、大学対抗団体戦を行います。

Aクラスの各大学の上位3名の合計得点の多い順

同点の場合はタイムコントロールの合計秒数の少ない順

に 上位3大学を表彰します。大学単位で成績を集計します

クラブ単位では有りません。表彰状はありません。

1位=ワイン3本 2位=2本 3位=1本

個人戦

大学生は A、Bクラス上位3名にメダルと表彰状を与えます。

大学生以外は、成績を集計しますが、表彰は行いません。

★団体戦、個人戦共に当日参加も表彰対象とします。

◎当日の流れ

- 更衣室になっているコミュニテイセンター憩いの家でモデル用に着替え、準備してから、徒歩約200m先の あづまやが受付です。赤テープ誘導です。トレイルO受付のあづまやまでは、必ず赤テープ誘導にしたがって、南側車道に面した歩道を通行してください。公園内に立ち入ることを禁止致します。

●受付

当日申込者＝当日申込書に必要項目を記入し参加費を支払う。

	Aクラス	Bクラス
社会人	2000円	1200円
大学生	1500円	800円
高校生以下	500円	500円

以下全員共通

- ・ウインブレを預けたい人は受付で荷札を取り、名前を記入してウインブレにつけてください。この荷札をつけてない人のウインブレは 預かりません。預ける場所はフィニッシュ後になります。
- ・スタート時刻の指定を受ける。係がコントロールカードにスタート時刻とナンバーカード番号を記入します。
- ・ナンバーカードを受け取り、胸に着ける（安全ピンは受付に置きます。）
- ・トレイルOが初めての人、TCが初めての人は必ず説明を受けてからスタートしてください。そのため10分以上余裕を持って、スタート時刻を決めてください。スタート時刻は当日指定します。モデルイベントや初心者説明との兼ね合いで、ご自分の都合のよい時刻を当日トレイルOの受付で決めてください
早めに受付でスタート時刻を確保する事をお勧めします。

●スタート

スタート時刻3分前に3分前枠に入り、以後1分おきに前の枠に進み、1分前枠で、地図を取り、大学名 氏名を地図の裏に記入してください。

●競技中

- ・トレイルOは道、小道以外は基本的に進入禁止です。今大会は車道に面した歩道はトレイルO競技中は一部を除いて歩行禁止です。地図にパープルのハッチが入っている道 道路は進入禁止です。トレイルをやらない人、或いは終了した人は、逆に南の車道に面した歩道のみ通行してください。
- ・競技中は私語、携帯電話使用禁止です。

・正解がわかったら、各コントロール番号の回答欄に2枚重ねたままでパンチしてください。パンチは吊りさげ方式です。DPから進行方向に向けて少し先の道端に有るパンチ棒に吊り下げてあります。パンチ棒には、コントロール番号を記入したカードが貼ってありますから、確認してパンチしてください。

- 競技時間はA, Bクラス共に60分です。60分を超えると5分毎に1点減点されます。
- 今回の崖、岩 目立つ木などは 統一した基準を設けていません。
各コントロールで 目立つ木、取るべき岩を取っています。
以下は 競技方法やトレイルO特有の規則などを書いてあります。
トレイルOの経験が浅い人は よく読んでください
- トレイルOは道を外れてオープンに入ったり、道表記でも階段を上ってはいけません。失格になります。要は車いすで入れない処には入らないということです。
道以外は特段の指示が無い場合は進入禁止です。
- 競技中の携帯電話の使用は失格になります。
- 順番にコントロールを回ってください、
- トレイルOは うっかりダブルパンチも認められません、そのコントロールは0点になります。爪で、懸命につぶしても無駄です。
- Aクラスは 正解無しのコントロールもあります、その場合は右端のZ欄にパンチしてください。
- DP板の場所は、フラッグの順番を決めるところです、DPから見て左からA, B, C, D, Eの順番にフラッグに記号がついていると思ってください
手前とか奥とかは関係ありません。あくまで、左から見える順番です。
正解を見つけるには、DPに立ち止まらず、道を左右に動いて、正解を決めてください。
但し、左右に動くことにより、フラッグの順番が入れ替わることが有りますので、フラッグの記号は改めてDPの処に行って確認してください。
- フィニッシュ
フィニッシュでは、フィニッシュラインをまたいだ時刻を計時 コントロールカードに記入します、ここで競技地図は一旦回収します。
フィニッシュ後にTCがあります。今回はA, Bクラス共にTCを行います
TCが初めての人は、必ずスタート前に説明を聞いてから、スタートして下さい。TC現場での質問にはお答え出来ません。
- TC待機所
前の競技者がTCを終了するまで、TC待機所で、待機してください。ここでナンバーカードを回収します。安全ピンは 専用缶に、ナンバーカードは専用箱に入れてください。静粛にお待ちください。
- TC (タイムコントロール)
今回はAクラス、Bクラス共にTC (タイムコントロール) があります。

タイムコントロールのやり方は、要点のみ以下に書きました。

- ・コントロールカードを係に渡す。係の指示に従って椅子に座る。
- ・では始めますハイ と言われて同時にTC用の地図が渡される。この地図は正置されて渡されます。この時から計時が始まります。
- ・地図のパープルの○の真ん中が正解です。位置説明を参考に正解のフラッグを決めてください。
- ・TCには正解なしは有りません。
- ・わかったら、TCチェッカーの記号の下にあるボタンを押してください
- ・答えを口に出して言わないでください。待っている人に聞こえる場合があります。
- ・答えに要した秒数で競います。不正解は0点の上、所要秒数に60秒加算されます。TCの制限時間は1分です。
50秒経過時点で、係が、50秒経過と言います。
- ・別段の表記（公式掲示板かプログラム）に示さない場合は TC地図の縮尺も当日のコース図と同じ縮尺です。

TCでコントロールカードを回収します。回収した地図とコントロールカードの自分用控えは フィニッシュ時刻毎に30分置き程度にまとめて箱に入れて、TC地点付近におきますのでモデル終了後に名前を確認して引き取ってください。

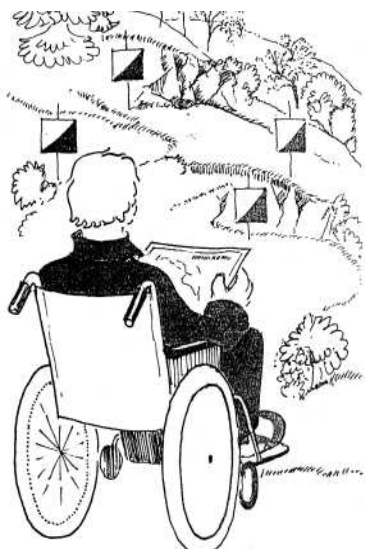
- TC終了後、ウインブレを預けることが出来ます（大きなポリ袋に入れて、その袋の番号を覚えておいて、モデル終了後の掃途、荷札の名前を確認後ウェアを着てお帰りください。過去に間違えて他人のウェアを着て行った人がいて、大変迷惑したことがあります。同じようなウェアが多いです、特に同じ大学のユニフォームには気をつけてください。
- モデル終了後、地図 コントロールカード、ウェアを受け取り、車道に面した歩道を通行してお帰りください
公園内の散歩用歩道は トレイルO競技者のみ通行可です。
トレイルO不参加で、モデルにだけ行く人、モデルが終わって帰る人は公園内の散歩道は通行禁止です。必ず、自動車道路寄りの歩道を歩いてください
最後に受付に寄って、正解表を受け取ってください。
競技終了後の地図 正解表は これからトレイルを行う人に見せないようお願いします。

役員

大会会長	櫻内保幹	(NPO法人トレイル・オリエンテーリング協会会長)
競技責任者	山口拓也	(NPO法人トレイル・オリエンテーリング協会)
コース設定者	山口拓也	(NPO法人トレイル・オリエンテーリング協会)
運営責任者	田中博	(NPO法人トレイル・オリエンテーリング協会)
スタッフ	小橋昌明 小山太郎 高柳宣幸 田中洋子 中山勝 仁多見剛	

トレイルOの注意点

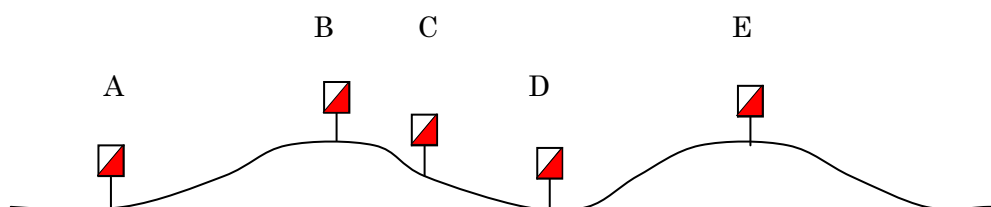
1. 進んでいいのは、道だけ。短い階段で、道の表示になっている処も進入禁止。
この階段（段差）車いすでは通れない、と気づいてください。
2. 現地に進入禁止表示が有ってもなくても、
地図上で進入禁止になっているところは、入ると失格です。
実際に岩手大会でも失格者が出ています。
現地では、地図表記が見つらい場合に現地に進入禁止表示をしています。
地図上ではっきり進入禁止がわかり、現地では 表示が見にくいような道は、
現地に進入禁止表示が無い場合もあります。
3. ダブルパンチは、そのコントロールは、誤回答と同じ扱いになります。
無理に爪で塗りつぶしても駄目です。
これは、時間を競わない競技ですから、あとで気づいたり、他の競技者に聞いたり、相談して、
訂正した場合に、それが見つけにくいからです。
パンチの前に、DPでコントロール番号と正解記号を確認しましょう。
4. E/Aクラスには正解無しコントロールがあります。
コントロールの円の中心にフラッグが無いと判断した場合はZ欄にパンチしてください。
全く違う場所に（例えば隣の植込みとか、隣の沢）コントロールの円が有って、じっさいのフ
ラッグ群のある植込みや沢が、全く違うという正解無しもあります。
5. DPは、フラッグの記号（左からA、B、C、D、E）を決める処で、正解は道を左右に動
き判断します。正解フラッグを決めたら、もう一度DP地点に戻り、その正解フラッグの記号
を確認して、パンチします。
正解が判った場所の順番でフラッグ記号を決めると、DP地点とはフラッグ順が変わる事もあ
ります。要注意。
6. 競技中 携帯電話の使用禁止、私語禁止です。実際に世界選手権大会で、携帯電話を使用して
失格になった、外国人選手がいます。
7. 水、飴などの補給は各自行ってください。
8. 服装は 自由です。散歩のできる服装、靴なら、差し支えありません。
雨天対策、防寒対策は各自行ってください。傘の使用もできます。
9. 地図を止めるクリップボード、地図を見る拡大鏡の使用は可で
す。双眼鏡は使用禁止です。
10. E、A、OAクラスにはタイムコントロール（TC）があり
ます。TCでは、回答に要する秒数時間を競います。正解なら
1点、不正解は0点で60秒加算されます。
椅子に座って、TC用地図を見せられて、正解フラッグがわか
ったら、前に有るTCチェッカーのボタンを押します。
乱暴に叩かないでください。
TCに正解無しは有りません。
11. 車いす優先です。DP前では、車いす競技者に場所を譲っ
てください。



トレイル O の 競技方法

1. スタート地点（地図上の△印）を出発し、地図上に示されたいくつかのコントロール（○印）を回り、ゴールします。通っていいのは車椅子が通行可能な道だけです。道から外れてはいけませんし、階段等も使用できません。また、競技中は私語厳禁です。
2. コントロールは番号の順番に回ります。地図上のコントロールの方に向かって道を進むと、地図上のコントロールの付近に複数のフラッグが見えてきます。その近くの道端に、DP（デジジョン・ポイント）を示す標識が立っています。この標識にはコントロール番号が記入されていますので、自分のコースの DP かどうか確認します。DP の位置がわかりにくい場合は、位置説明の H 欄にコントロールに対する方向を示す矢印が記入されています。
3. 位置説明表の「フラッグの数」の欄に、A-C、A-D などとあるのは、何個のフラッグが置かれているかを示しています。例えば A-C は 3 個、A-D なら 4 個あります。DP からは全部のフラッグが確認できるはずで、この DP の位置から見て向かって左から順に A、B、C、D、E と呼ばまわりになっています。

道上を左右に移動するとこの A、B、C……の順序が入れ替わることがあるので注意が必要です。



4. これら複数のフラッグのうち、地図上の○印の中心の位置にあるフラッグが正解のフラッグです。地図、位置説明表、コンパス、周囲の地物などを手がかりに、どれが正解のフラッグかを判断し、決定します。この判断・決定は競技者自身が行います。他の競技者や介助者等に相談したり、教えたりしてはいけません。
5. DP はあくまでもフラッグの ABC 順の決定するための場所です。正解フラッグの判断は DP にとらわれずに、道上を左右に動いて行うようにします。DP の前は他の競技者のためになるべく空けるようにして下さい。特に DP の前は車いすの競技者優先です。
6. 正しいと思うフラッグを決めたら、パンチでコントロール・カードにチェックします。パンチは DP から少し進んだ辺りに設置されています。チェックする位置は、例えば No.1 コントロールで A

のフラッグが正しいと判断したら「1A」の欄にチェックします。

7. コントロール・カードは2枚重ねになっていますので、2枚いっしょにパンチしてください。また間違っただけの欄にパンチしてもやり直しは一切できないので、慎重にパンチしなければいけません。
8. 必ずパンチを済ませてから次のコントロールへ向かいます。このようにして番号の順番にコントロールを回ってください。ゴールは地図上の◎の地点です。
9. 一般に初級以外のコースでは、全部のフラッグが正しくない、つまり正しいフラッグがないコントロールが設けてあります。コントロールではもちろんのこと、コントロールとコントロールの間でも注意して地図を読むことが必要です。正しいフラッグがないと判断した場合は、コントロール・カードの右端のZ欄にパンチしてください。
10. 競技時間はコースごとに設定されます。コースを回る時間の早い遅いは、競技時間の範囲内であれば成績には関係ありません。競技時間を越えた場合は、超過5分までごとに1点の減点となります。
11. 一般に初級以外のコースでは、コース上にTC（タイム・コントロール）が設けられています。その位置は地図上には示されていません。TCでの所要時間は、競技時間には加えられません。ここでは正しいと思うフラッグを決定するのに要する時間が計測されます。TCには役員がいますので、その指示に従ってください。

①椅子に座る。

②課題のコントロールを示した正置された地図を渡される。この時点から計測が始まる。

③位置説明表（正置されていない）も見ながら、どれが正しいフラッグか判断する。

制限時間は60秒で、10秒前に予告がある。

④決定したら、ボードに書かれた「A」「B」「C」・・・のアルファベットを指で指す。

電気式TCチェッカーを使う場合もある。

⑤TCの得点は次のように計算される。

1) 正解の場合：得点1点と所要秒数

2) 間違っただけの場合：得点0点と所要秒数+60秒

3) 制限時間オーバーの場合：得点0点と120秒

12. 成績の計算方法 正解コントロール1つにつき得点1点とし、以下のように順位を決定する。

①合計得点（TCを含む）の高い順。

②同点の場合はTCにおける秒数の少ない順。TCが2つ以上ある場合は、合計の秒数の少ない順。

（日本トレイル・オリエンテーリング研究会）

タイムコントロールと普通のコントロールの違い。

- 1、 椅子に座って行う。
- 2、 地図はタイムコントロール用の特製地図を
現地でいすに座ってから渡される
- 3、 地図は正置された状態で渡される。
- 4、 正解無しは無い。
- 5、 正解を答える時間（秒数）を競う、制限時
間は1分 越えると無回答になる。
- 6、 順序
 - ① TC待機所で、到達した順番を崩さずに 静かに待つ
 - ② TC待機所の係員の指示により、TCに進む
 - ③ CCを係員に預ける
 - ④ 椅子に座る
 - ⑤ 「XX個のフラッグがあります。では始めます ハイ」で正置され
た地図を渡される。

この「ハイ」から競技が始まり、時計が動き始めます。
- 6、 正解がわかったら、目の前に置いてあるTCチェッカーの
記号ボタンを押す。（叩かない） 答えを口に出さない。
- 7、 正解記号ボタンを押すと 自動的に時計が止まる。
- 8、 係員がCCに答えと所要時間を記入して、返してくれる。
指示に従って、次に向かってください。